

地域の様々な人材・施設を活用した連携事業

北海道 滝川市立図書館

基本データ

所在地	滝川市大町1丁目2番15号
職員数	13人
うち司書数	8人
蔵書数	約180,000冊
利用登録者数	約15,700人
年間貸出冊数	231,382冊 (児童用図書貸出数 81,703冊)

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】連携

【活動のねらい】

- 地域の人材や施設と連携することで、多文化教育を推進するとともに、施設の活用を図りながら郷土愛を育み、体験を通じた自発的な学びを育成することを目的とする。

取組・活動の概要

(1) 世界のことばでこんにちは!!

- 幼い頃から多文化に触れる機会を提供するため、国際交流員らと連携し開催

【対象】未就学児から小学生

【頻度】隔年毎程度（実施年は2回～8回程度）

【取組・活動内容】

※実施年度により内容は異なる

- 世界の国々を舞台にした本や原書の展示（図書館・小学校巡回展）
- オリジナルマイ国旗づくり（図書館・小学校）
- 国際交流員の母国語の挨拶や文化を学ぶ（図書館・小学校・児童館・ロータリークラブ主催のファミリーコンサート）
- 国際交流員の母国の絵本の読み聞かせ（図書館・小学校・児童館）
- 4カ国語で「おおきなかぶ」の読み聞かせ（図書館・小学校・児童館・ロータリークラブ主催のファミリーコンサート）
- 英語と日本語で同時読み聞かせ（図書館）
- リズム遊び&「どこの国？」クイズ（図書館）



世界のことばでこんにちは!!

(2) たきかわDE調べる学習体験講座

- 運営母体の異なる施設の専門家達がサポートして、市内の施設を会場に、「空」「川」「自然」など、滝川でしか体験できないテーマについて学び、そこで生まれた疑問や気づいたことを、図書を活用して調べてまとめる。

【対象】小学生

【頻度】年2～3回

【取組・活動内容】

①川コース

- 川のしくみや川底の変化について
- 石狩川を1000分の1の大きさで再現した「石狩川リバーウォーク」、石狩川周辺の街や川などについて
- 排水機場の働きについて
- 水辺の安全教室

- カヌー、つり、水上バイクの体験
- 図書館の本や川の科学館・海洋センターから提供したパンフレットやリーフレットを使った川についての調べ学習

②空コース

- 浮力やグライダーのしくみについて
- グライダーの操縦席体験
- 飛ぶもの工作と飛ぶしくみについて
- スチレングライダー、ブーメランづくり
- 河川敷で飛ばしてみよう体験
- 図書館の本やスカイミュージアムから提供したパンフレットを使った飛ぶしくみについての調べ学習



調べる体験講座・空コース

取組・活動の工夫や特徴

- 連携をする際には、お互いに負担がかからない方法で行わなければ続かないため、開催前と後に改善策について話し合う場を設け、見直しを図っている。

取組・活動の成果や今後の展望

- 連携を契機に滝川ロータリークラブより英語で書かれた絵本（約 50 万円相当・280 冊）のご寄贈をいただき、市内幼稚園、保育所、学童クラブ、小・中学校への団体貸出で毎月英語の

本を織り交ぜて貸し出し、身近な場所で常に英語に親しむ機会が提供できるようになった。

- 体験講座を受講した児童らが、調べ学んだテーマで、「調べる学習コンクール」に応募し、年々優れた作品として成果を残すようになり、低学年の部で昨年は 2 位、今年は 1 位を獲得しており、自ら調べまとめる力が目に見える形で身につけてきていることがわかる。また、作品は郷土について研究した記録であるため、まちの財産である「市勢資料」として保存していくことができる。
- 取り組みがきっかけでリピーターが施設を訪れ、集客力アップにもつながり、施設の活性化にもつながった。
- 郷土の資源として取り上げることができる素材がいくつもあるため、ご協力いただける人材・施設・団体等と連携していくことで、幅広いテーマで郷土の良さを発見してもらえる機会を増やしていきたい。